報　告

2022年7月

NPO法人都市生活コミュニティセンター

小規模多機能型居宅介護事業所パンセ武庫之荘ホーム管理者：池田啓一

2021年度の事業所自己評価の為、小規模多機能居宅介護事業所パンセの職員全員に記入表（尼崎市提供）を配布し、記入してもらいました。（2022年２月）

その概要を次の通り、報告します。

記入表のファーマットを別途添付します。

記入表の大項目は

Ⅰ―理念に基づく運営

Ⅱ―安心と信頼に向けた関係作りと支援

Ⅲ―その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ―その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

小項目は全体で５５項目になっています。

小規模多機能事業所の運営にあたって各職員が気を付けるべき内容が幅広い角度から示され、その実践の状況を各職員が自身で振り返ることになるものと受け止めています。

いくつか特徴的なところを紹介します。

１―当法人ではそれぞれの職員が介護や看護の専門資格を持って職務に当たっていますので、職員としての経験ということもありますが、基本的なところは理解しており、概ね出来ているあるいはそうしようと努力していると回答しています。

２―上記の関連で申せば、当法人としてあるいは当事業所としての考え方をどこまで浸透できているのかではまだ十分ではないように見受けられることもあります。

３―利用者様ごとの状況に応じた丁寧なケア、健康面への配慮などが求められることから職員間の情報連携は重要です。そのために日直制度の運用や個別利用者様に即したケアミーティングを毎週開くなどしています。パートタイム労働の方も多いため、その点ではさらに丁寧な情報連携の仕組み作りが必要であると考えています。

４―職員の介護技術の向上は大事な課題です。コロナ禍にあるため、集合してでの研修の機会を作りにくい状況が続いていますが、小規模な単位で技術研修を繰り返すあるいは最近はネットを活用した研修も導入しました。

５―コロナ禍にあるため、ご家族様の施設への来訪を制限（全面禁止ではありませんが）しています。その点でご家族と接触が取りにくい状況にあります。そこでケアマネジャーや管理者などが利用者様とご家族様とを繋ぐ役目をうまく果たすことが大事と見ています。

以上